



沖縄県浦添市のマンション上空を超低空で飛行するオスプレイ (10/15 午後3時 琉球新報より)

沖縄で普天間基地 1万人デモ

12月23日に沖縄で、普天間基地への怒りの1万人デモが闘われます。10万人が集まった9.9沖縄県民大会に続く大行動です。沖縄の闘いに連

帯して全国で声をあげましょう。

また、本土訓練の拠点になる厚木基地（神奈川県）でも23日、オスプレイの飛来に反対する行動が行われます。本土での低空飛行訓練を許さない闘いを全国各地で行いましょう。

オスプレイ配備撤回!

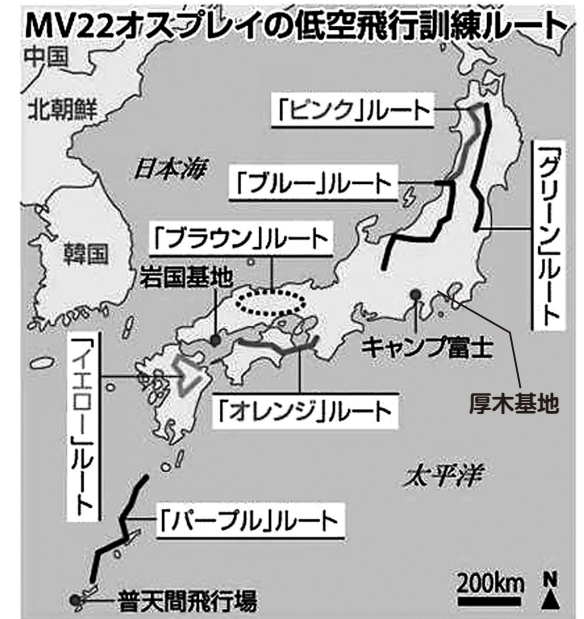
沖縄一本土での低空飛行訓練反対!

普天間基地に米軍の新型輸送機オスプレイが配備されて以降、「安全確保のための日米合意」すら無視されて、住宅密集地、学校などの上を低空で、さらに深夜におよんで、事故発生率の高い「垂直離着陸モード」で飛びまわっています。オスプレイが衝突しないように、2階の電気をつけたままにして就寝している県民もいます。

オスプレイの配備強行と、米軍犯罪の激化に対して、沖縄県民の怒りが頂点に達しています。もはやすべての基地を撤去する以外にないと、闘いへの気概が広がっています。基地で働く労働者も決起を開始しています。

戦争に向かう安倍政権に怒りを!

総選挙で大勝した自民党の安倍総裁は、「日米同盟の絆を取り戻す」と宣言し、米軍と自衛隊の一体化をおし進め、集団的自衛権の行使を認めようとしています。「尖閣諸島への実効支配の強化」と言って、自衛隊の配備も考えています。これはまさに戦争への道です。安倍政権に対する怒りをもって、オスプレイ配備撤回、全土での飛行訓練反対、基地撤去の闘いに立ち上がりましょう!



とめよう戦争への道! 百万人署名運動

〒101-0061 千代田区三崎町 2-20-7-303
tel.fax 03 (5211) 5415
メール million@mqc.biglobe.ne.jp

安倍・自民党の改憲を許すな!

「国防軍」「自衛権の発動を妨げない」 「96条改正」「国家緊急権」「天皇は元首」

改憲国会と対決する 2013 年となりました。安倍・自民党は、改憲を再び真っ向から掲げています。安倍総裁は「(改憲発議要件を) 3分の2から2分の1に変える 96 条改正案をまず出したい」と何度も明言しています。憲法審査会で改憲案をどんどん審議していくことが自民と公明のあいだで確認されました。

安倍は 2006 年に「戦後体制からの脱却」を掲げ、「教育の憲法」と言われた教育基本法の改悪を強行しました。2007 年 5 月には改憲国民投票法を強行採決しました。しかし 1 年で辞任に追い込まれました。

マニフェストに改憲案を列挙

今回の自民党の選挙公約では、今年(2012 年) 4 月に発表した「新憲法草案」の概要を盛り込みました。そこでは、自衛隊を「国防軍」にする、「(憲法 9 条は) 自衛権の発動を妨げないこと」や、「天皇を元首とする」「国家緊急権を設ける」ことなどが明記されました。「自衛権の発動を妨げない」とは、憲法で戦争をすることを認めるものであり絶対に許せません。過去の戦争は

すべて「自衛権の発動」として行われてきたからです。外交の項目では「集団的自衛権の行使を可能にする。『国家安全保障基本法』を定める」と書かれています。集団的自衛権の行使とは米軍と一緒に武力を行使することで、それを憲法で認めると言っているのです。

労働組合の反撃を恐れている

自民党はまた、「地方公務員の政治活動の規制」など、明らかに労働組合活動を破壊することを目的とした政策も公約にしています。これは、「自主憲法制定」を掲げた「日本維新の会」の橋下や石原のやり方や考え方と同じで、自治体や教員などの労働組合を解体しなければ、改憲や戦争政策を簡単には進められないと考えているからです。

世界では、「1%が 99%を支配する社会を変えよう」と、ゼネストや大規模デモが高揚しています。全原発即時廃炉、改憲・戦争絶対反対で闘いましょう!

安倍も石原も核武装を狙っています。本気で立ち向かう時です。改憲反対署名へのご協力をお願いします。

改憲・戦争政策に関する自民党の主な公約

集団的自衛権を可能に。「国家安全保障基本法」を制定
自衛隊を拡充する。改憲により自衛隊を「国防軍」に
米国の新国防戦略と連動し日米新ガイドライン見直し
領土・領海防衛の法整備、尖閣諸島の実効支配の強化
「道州制基本法」の早期制定後 5 年以内の導入を目指す
「地方公務員法」を改正し、一定の政治活動を規制
新憲法草案をもとに改憲を推進。96 条改正案から提出

全原発即時廃炉! もんじゅ・核燃サイクル廃止! 日本の核武装阻止!